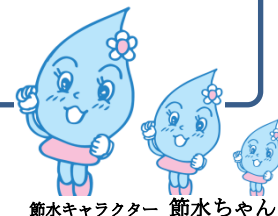


参加校の「節水実践の事例」をご紹介します！



ステップ1

- ♪雑巾はバケツで洗う。
- ♪学校中のバケツの内側に「節水ライン」という目印(テープ)を付け、水の量を視覚的に意識させる。(バケツ半分以下の位置)
 - 水の量が少ないと軽くなるため、特に低学年の児童にとって使いやすい。
- ♪年度初めに各掃除場所の担当教職員が清掃指導のオリエンテーションを行い、バケツ利用など掃除の仕方を徹底。特に新一年生に丁寧に指導する。
- ♪ハミガキのうがいには、コップ(コップ1杯の水でうがい)を使う。
- ♪水のみにはコップを使う。
- ♪蛇口の水は、「鉛筆1本の太さ」で使う。
- ♪水の止め忘れを防ぐため、蛇口を下に向ける。
- ♪習字の後の筆洗いにペットボトルを使う。
- ♪絵の具のパレットはチラシで拭きとってから洗う。
- ♪水やりにはホースではなく、ジョウロやペットボトルを活用する。
- ♪水やりには雨水くん(雨水)を利用する。
- ♪掃除の時間に、節水ソングCDを流す。
- ♪トイレの水は使った後1回だけ流す。
- ♪教職員も節水に取り組み、積極的に生徒への声かけを行う。

CDは水保全課で無料配布。

ステップ2

- ♪4年生全員でくまもと水検定3級に挑戦する。親子で学習機会を設定し、全員合格した。
- ♪夏休みの課題としてくまもと水検定3級に挑戦する。
- ♪出前授業「節水チャレンジ小学校」を活用する。
- ♪節水コマを設置する。

水保全課が実施する出前授業「節水チャレンジ小学校」。随時申し込み受付中。

水保全課では節水コマ設置希望校を募集中。無料で校内に節水コマを設置します。

ステップ3

- ♪エコウィークを設定。
 - クラス目標の達成に向け、具体的行動(水道の蛇口は下向きに止めるなど)をとるよう、環境委員の生徒を中心に学校全体へ呼びかけを実施。
- ♪環境委員会の生徒に節水ポスターを作成させ、水周りへ掲示。
- ♪全校集会で環境委員会の活動を発表する機会を設け、学校全体への波及を図る。
- ♪水使用量を棒グラフで表し、生徒の節水の頑張りを目に見えやすくする。
- ♪環境月間に環境委員会から環境標語を募集する。
- ♪帰りの会でクラスのエコ委員が節水の呼びかけを定期的に行う。
- ♪節水の取組みについて生徒会新聞などで家庭へも波及させる。
- ♪環境ISO宣言について毎年意識調査(アンケート)をし、学年があがるにつれ意識の低下が見られることがわかった。取組みの積み重ねが大切と実感。



わくわく節水実践コンクールに関するお問合せ
熊本市水保全課 普及啓発班 TEL328-2436